

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：熊谷市立佐谷田小学校ムサシトミヨ繁殖委員会

22A-49

代表者：校長 中村朋子

URL : kyoutou@sayada-e.ed.jp

1. 活動が必要とされた状況

昭和30年代頃までは、ムサシトミヨの生存が確認されていた。しかし、農業や工業の発達に伴い地下水を多く使うようになり、そのため地下水が涸れ始めるとともに、生活排水も川を汚し、ムサシトミヨの生息環境が悪化し生息できなくなっていった。昭和39年に、元荒川でも環境が悪化したが、水産試験場がくみ上げた地下水を流していたため、奇跡的に生き残ることができた。その後、ムサシトミヨの「種の保存」のために、本校を含めた3校で繁殖活動が始まった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

①毎日の活動

ムサシトミヨ繁殖委員会（5年生6名、6年生8名）の児童で毎朝登校後、トミヨ池の水温測定・網洗い・観察日記の記入・ザリガニの駆除と佐谷田川の清掃活動を行っている。



②埼玉教育ふれあい賞受賞

令和1年10月19日（土）埼玉県民活動センターにおいて、日頃の「ムサシトミヨ繁殖活動」が評価され、「埼玉教育ふれあい賞」を受賞するとともに、プレゼンテーションで活動報告をした。児童代表2名・職員3名参加。参加者およそ100名。



③繁殖調査

令和1年11月7日（木）、1年前に雄雌各10匹ずつ佐谷田池に残したムサシトミヨが、何匹に繁殖しているか調査した。協力団体は、埼玉県環境科学国際センター・埼玉県みどり自然課・さいたま水族館・熊谷市環境政策課・熊谷市ムサシトミヨをまもる会の方々（約15名）。委員会の児童は、全員参加。



④全校児童集会

令和1年12月19日（木）、ムサシトミヨの今年度の繁殖数を含めた繁殖活動について報告を行う。全校児童数321名 職員数20名。

⑤熊谷市ムサシトミヨをまもる会主催「ムサシトミヨ繁殖報告会」への参加

令和2年2月16日、熊谷市商工会館にて、繁殖調査の様子や日頃の繁殖活動を発表した。参加児童数4名・職員3名・一般参加者約60名。

3. 活動の成果

今年度の繁殖調査では156匹で、今まで32年間の累計では8,102匹を繁殖したことになる。ムサシトミヨ繁殖委員会の児童を中心として、本校児童は、絶滅危惧種であるムサシトミヨへの関心および保護意識が高まるとともに、環境問題への意識が高まりつつある。

4. 今後に残された課題

今後もムサシトミヨの繁殖活動を通して、児童の環境問題への関心がさらに高まり、主体的に環境問題を改善していこうとする態度を身につけていきたい。